

未来をひらく学びづくりの推進



- 教委名 行田市教育委員会
- 所在地 行田市本丸2-20
- 電話番号 048-556-8316
- E-mail gakkok@city.gyoda.lg.jp

1 研究主題

(1) 研究の概要

ア 研究主題 「未来をひらく学びづくりの推進」

イ 研究主題設定の理由

本市は、本年度より第5次行田市総合振興計画「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」を実行している。

教育委員会としては、学びの環境にあふれた「未来をひらく人材と文化をはぐくむまちづくり」の実現を目指し、その具現化を図るべく平成23年度の教育行政重点施策を決定し、児童生徒に「未来をひらく学び」の育成を推進している。夢に向かって未来をひらき、未来の社会を築いていく力を秘めた行田の子どもをはぐくむ教育施策の実践に取り組んでいる。

2 研究の実践

(1) 行田市独自の少人数学級編制

本年度より国の基準で小学校第1学年35人学級が実施されたが、本市は平成16年度以降小学校1・2年生と中学校1年生で30人、小学校3年生、中学校2・3年生で34人の少人数学級を編制し、きめ細やかな教育環境の整備に努めている。



本年度は22名の「浮き城先生」（市負担教職員）を各小・中学校に配置した。「浮き城先生」には、県費負担教職員の初任者研修に準じた研究授業、研究協議等の行田市独自の研修を行い資質の向上を図っている。教育長をはじめ指導主事、校長、教頭、先輩の教師の指導を通して、授業力アップに励んでいる。

(2) 早期に英語に慣れ親しませる小学校英語活動

小学校3年生から6年生までは週1時間、1・2年生は年間10時間の英語活動を全小学校同一歩調で実施している。

教育内容を同じくするため、「英語活動推進委員会」を組織し、スーパーバイザーの聖学院大学講師の阿部フォード恵子先生に指導を受けながら、カリキュラムや指導組織体制、指導方法に関することなど幅広く実践的な研修を行っている。

「英語活動推進委員会」では、4年間に渡る教材開発を行い、下記のものを作成した。

- 小学校1年生～6年生までの行田市英語活動系統表の作成
- モデル案A（1単位時間の指導案に該当）の作成
～授業の流れが分かるように～
- モデル案B（授業の流れを効果的にする支援）の作成
～授業で使用する教材・教具の指示～
- 安心して英語活動に取り組むための共通理解事項の作成
～新採用教員、市外転入教員に対する手引き～



本市は、教員の指導力向上に校内研修だけでなく、隣接校同士の“ペア校”で相互に授業参観を行い、相互研修を行っている。また、毎年、夏季休業中に子どもへの指導方法や留意点等

について、小学校全教員を対象にした英語活動の実技研修会を実施している。本研修には、中学校の英語科の教員も参加し、小学校との交流を図っている。

(3) 学力向上推進委員会の取組

小・中学校や行田市PTA連合会、県立学校（進修館高校、行田特別支援学校）、有識者等の代表の方からなる「行田市学力向上推進委員会」を設置し、学力向上に向けた課題を検討している。それに基づき、「子どもが自ら学ぶ力をどう育てるか。～家庭学習・学習習慣をどうつけるか～」と題して、教育創造研究センター所長の高階玲治先生に御講演をいただき、今後に向けた取組の方向性を示していただいた。

(4) 国語カステップアップ推進事業



各校代表による「国語カステップアップ推進委員会」を設置し、「きれいな日本語3つのすすめ」のリーフレットや「子どもに伝えたい読ませたい名詩・名文・古典」、その活用マニュアル等を作成し、各学校に配付し活用を図ってきた。授業時間や朝の時間等を使って音読や暗唱を繰り返し行うことで、名詩・名文・古典に親しんできている。また、小学校での伝統的な言語文化に親しむための継続的な指導の一端を担ってきている。

そのことが、中学校での古典の学習にも良い影響を及ぼしてきている。

(5) 行田市保幼小連絡協議会による「スタートカリキュラム」の作成と実践

本年度39年目を迎える行田市保幼小連絡協議会では、昨年度「小1プロブレム」の解消に取り組むことが喫緊の課題として提案され、幼児期と児童期を円滑につなぐための「スタートカリキュラム」の作成に取り組んだ。

本年4月に各小学校とも1年生のカリキュラムに位置づけ実践を図った。

課題検証については、各学校が毎年継続して改善を図っていくこととした。

スタートカリキュラム 「かこうだいほき！1ねんせい」 2011年 第一週

	月（11日）	火（12日）	水（13日）	木（14日）	金（15日）	
1	学 活 音 美	きょうから1年生 ・自己紹介 ・好きなこと、嫌いなこと の発表	あかるいあいさつ 徳	学校の約束 ・傘の片付け方 活	すきなもののいっぱい 保護者会用の名札に 好きな絵を描く 四 工	かこうってたのしいな ・たのしいかこう 徳
	音 美	先生と遊び ・担任紹介 ・先生クイズ ・歌とゲーム	学校の約束 ・廊下の歩き方 ・トイレの使い方など 活	うたでともだちを つくる 美 ・うたでさんぽ ・校歌	せいじともちかた ・正しい鉛筆の持ち方 書 字	なかよし ・絵を見て、どんな動物 が出てくるか、どんな 話を話しよう 国 語
2	学 活 生 活	教室の約束 ・自分の座席 ・道具箱 ・ロッカーなど	みんなで学校をあるこう ・職員室・保健室 ・図書室など 生 活	身体測定 学 校	みんなで学校をあるこう ・理科室・家庭科室 ・音楽室など 生 活	通員の遊び ・ジャンケルジム ・鉄棒・すべり台 ・ブランコ ・のぼり旗など 体 育
	生 活	みんなで学校をあるこう ・流し場 ・靴箱 ・トイレなど	おはなしまきたいな、 よみたいな （読み聞かせ） 国 語	行 事	なかよし ・絵を見て、どんな動物 が出てくるか、どんな 話を話しよう 国 語	なかよし ・絵を見て、どんな動物 が出てくるか、どんな 話を話しよう 書 字
3	学 活	下校の仕方 ・安全指導 （※通学班集会など）	うたでともだちを つくる 美 ・うたでさんぽ ・校歌	おはなしまきたいな、 よみたいな （読み聞かせ） 国 語	おはなしまきたいな、 よみたいな （読み聞かせ） 国 語	おはなしまきたいな、 よみたいな （読み聞かせ） 書 字
	学 活	下校準備 ・下校の仕方 活	下校準備・下校の仕方 学 活	下校準備・下校の仕方 学 活	下校準備・下校の仕方 学 活	下校準備・下校の仕方 学 活
4						

(6) 特別支援教育体制整備事業

特別支援学級担任等の専門性の向上や特別支援学級支援籍の活用、市内小中学校教員の発達障害支援に係る指導力の向上に向けた取組を実施している。本年度、臨床心理士と専門の指導主事、職員で特別支援教育コーディネーターも加えて、小学校3年生（709名）全員を対象に発達障害を含め、特別な教育的支援を必要とする児童の実態把握を行った。

また、市内小学校4年生～中学校1年生全員（3078名）を対象にしたQ-U（心理検査）を実施し、学級経営の改善を図っている。

3 成果と課題

- 成果：各事業の取組に参加した方から有益であったとの意見を多く聞くことができた。また各学校の取組により、小・中ともに基礎学力の定着が図られてきている。
- 課題：今後もこれまでの事業を継続し、取組を充実させるとともに、学習意欲向上や家庭学習についての具体的な取組の推進を図っていきたい。